

2022 年 4 月

2022 年 度 経 営 ア カ デ ミ ー
生産革新マネジメントコース参加者 各位

公益財団法人 日本生産性本部
経 営 ア カ デ ミ ー

開講のご案内および事前課題送付について

この度は生産革新マネジメントコースにご参加いただき、誠にありがとうございます。

来年 2 月までの長丁場になりますが、有意義な学習、相互研鑽の場となるよう事務局一同サポートさせていただきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

事前のご準備等に関しまして、下記ご確認ください。

記

1. 同封資料

- (1) 開講のご案内および事前課題の送付について（本状）
- (2) 2022 年度 生産革新マネジメントコース 開講式次第
- (3) 年間日程表
- (4) ケーススタディのお取組みについて
- (5) ケース「鍋屋バイテック会社」
- (6) ケース「大町工業」
- (7) 資料『オペレーションズ・マネジメント』（p. 1～49）
- (8) 2021 年度 グループ研究報告書
- (9) 書籍 2 冊（『モノづくりマネジメント入門』、『経済性分析』）

2. 開講案内について

下記の URL にアクセスいただき、「生産革新マネジメントコース」をご覧ください。

URL : <https://www.k-academy.jp/openingguidance/>

パスワード : academy2022

3. スケジュール

- (1) 5 月 26 日（木）
 - 12 : 30～ 受付
 - 13 : 00～13 : 50 オリエンテーション
 - 13 : 50～14 : 00 休憩
 - 14 : 00～17 : 00 導入講義「データを活用した現場マネジメント」
鍛冶田 良 氏（日本生産性本部 主任経営コンサルタント）
 - 17 : 30～19 : 00 自己紹介・名刺交換

(2) 5月27日(金)

- 9:45～ 受付
- 10:00～13:00 ワークショップ「システムダイナミクス」吉沢 昇司 氏 (ジーニアスホープ)
- 13:00～14:00 昼食休憩 (各自)
- 14:00～17:00 開講講義「経営理念に基づくものづくり」
河野 宏和 氏 (慶應義塾大学大学院 教授／当コースコーディネーター)
- 17:00～17:30 休憩
- 17:30～18:00 開講式
- ・コース委員長ご挨拶 (ビデオメッセージ)
 - ・コーディネーターご挨拶
- 18:00～19:00 懇親会 (内容検討中)

4. 開催形式：両日とも対面にて実施いたします。

*感染症の状況によって、オンライン (zoom) に変更させていただく場合がございます。

5. 事前課題について (設問は、開講案内掲載 URL よりダウンロードください * 上述2ご参照)

■事前課題 (1)

講義日時：5月26日(木) 14:00～17:00

テーマ：導入講義「データを活用した現場マネジメント」

講師：鍛冶田 良 氏 (日本生産性本部 主任経営コンサルタント)

提出期限：5月23日(月)

■事前課題 (2)

講義日時：5月27日(金) 14:00～17:00

テーマ：「経営理念に基づくものづくり」(ケース「鍋屋バイテック会社」)

講師：河野 宏和 氏 (慶應義塾大学大学院 教授／当コースコーディネーター)

ねらい：当コースでは、「強い工場＝経営理念が表れている現場」と考えています。鍋屋バイテック会社のケースを通して、同社の多品種微量生産を支える経営理念、マネジメントを議論します。同社のトップになったつもりで、現場のみならず、理念や経営課題など、様々な領域を横断的に議論することで、「経営的な視点とは何か」を考え、ご自身の「経営的な視点」を言語化できるようにします。

*経営の範囲は多岐にわたります。そのため、「経営的な視点」は人によって定義が様々ですので、皆様が「経営的な視点」を考える上で有益な場になればと考えています。

提出期限：5月23日(月)

■事前課題 (3)

講義日時：6月8日（水）10：00～13：00

テーマ：「ものの流れのマネジメント」

講師：平川 保博 先生

（東京理科大学 社会人教育センター長／当コースコーディネーター）

ねらい：今日、コロナ禍やウクライナ紛争の影響で、サプライチェーンが途絶する産業もあり、在庫の持ち方が見直されています。本講義では、ものの流れ・情報の流れに着目し、工場のものの流れを最適化するにはどうすべきかを考える視点を身につけます。

提出期限：5月31日（火）

■事前課題 (4)

講義日時：6月8日（水）14：00～17：00

テーマ：「納期遅延問題の解決」（ケース「大町工業」）

講師：坂爪 裕 先生（慶應義塾大学大学院 教授）

ねらい：組織の問題は多くの場合、様々な要因が複雑に絡み合っており起こっています。

改善や変革に取り組む際、最も重要なことは「何を解決するのか」です。

納期遅延のケースを通して、生産現場にとどまらず、営業や購買などの全社的な視点で問題の所在を捉えなおし、問題を構造化する思考を身につけます。

提出期限：5月31日（火）

＊事前課題（2）・（4）は、同封の「**ケーススタディのお取り組みについて**」をお読みの上、お取り組みください。

＊いずれの講義でも、グループ討議を行います。**取り組みが不十分だと、議論が深まりませんので、十分議論ができるよう準備をしてきてください。**

6. 講義資料（レジュメ）について

電子データもしくは郵送にてお送りいたします。

後日、メールでご案内をさせていただきます。

7. グループ研究報告書

当コースのプログラムであるグループ研究の報告書です。実際に現場を訪問し、問題が何かを議論し、課題解決策定・導入・検証までを行います。6月8日のグループ編成で使います（現場は、工場のほか、より広い範囲を対象にした地域そのものを予定しています）。

8. 配布書籍

(1) 『モノづくりマネジメント入門』

生産関連分野の理論を体系的にまとめた書籍です。研修を通じて、知識習得・定着のためにご活用ください。

＊事前課題（3）の工程分析記号については、本書籍の第2章をお読みください。

＊11月の講義「サプライチェーンとQCDE戦略」で使用しますので、通読をお願いいたします。

(2) 『経済性分析』

7月14日（木）、15日（金）の講義「設備投資の意思決定」で使用します。

当該書籍の内容を理解している前提で講義を行いますので、各自のペースで読み進めてください。

コースの途中で、参考書籍を配布いたします。

9. 開講時（5月26日、27日）に使用するもの（お手元にご用意ください）

事前課題（1）、（2）の資料・回答

＊事前課題（3）・（4）は6月8日（水）に議論します。

＜開講当日に議論する事前課題＞

事前課題（1）導入講義「データを活用した現場マネジメント」

事前課題（2）「経営理念とものづくり」（鍋屋バイテック会社）

それぞれ、5月23日（月）までに事務局にメールでご提出ください。

＊その他準備物等につきましては、開講のご案内（下記URL）をご参照ください。

開講のご案内：URL：<https://www.k-academy.jp/openingguidance/>

パスワード：academy2022

10. その他

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

以 上

公益財団法人 日本生産性本部 経営アカデミー 茅根 滋
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階

TEL: 03-5221-8455 mail: S.Chinone@jpc-net.jp